

平成18年度研究実績 トピックス

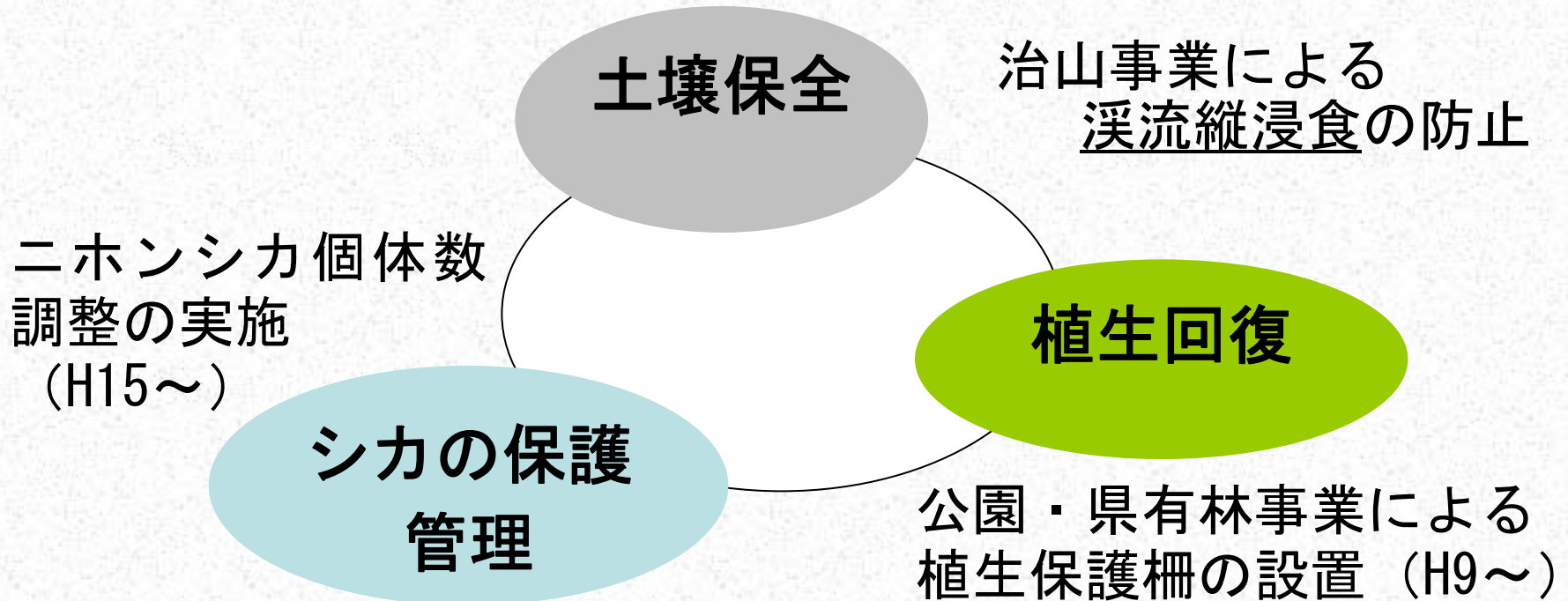
自然林内における 表面土壌侵食対策手法の改良・開発

自然環境保全センター—研究推進協議会

2007. 7. 27

旧丹沢大山保全計画の取り組み

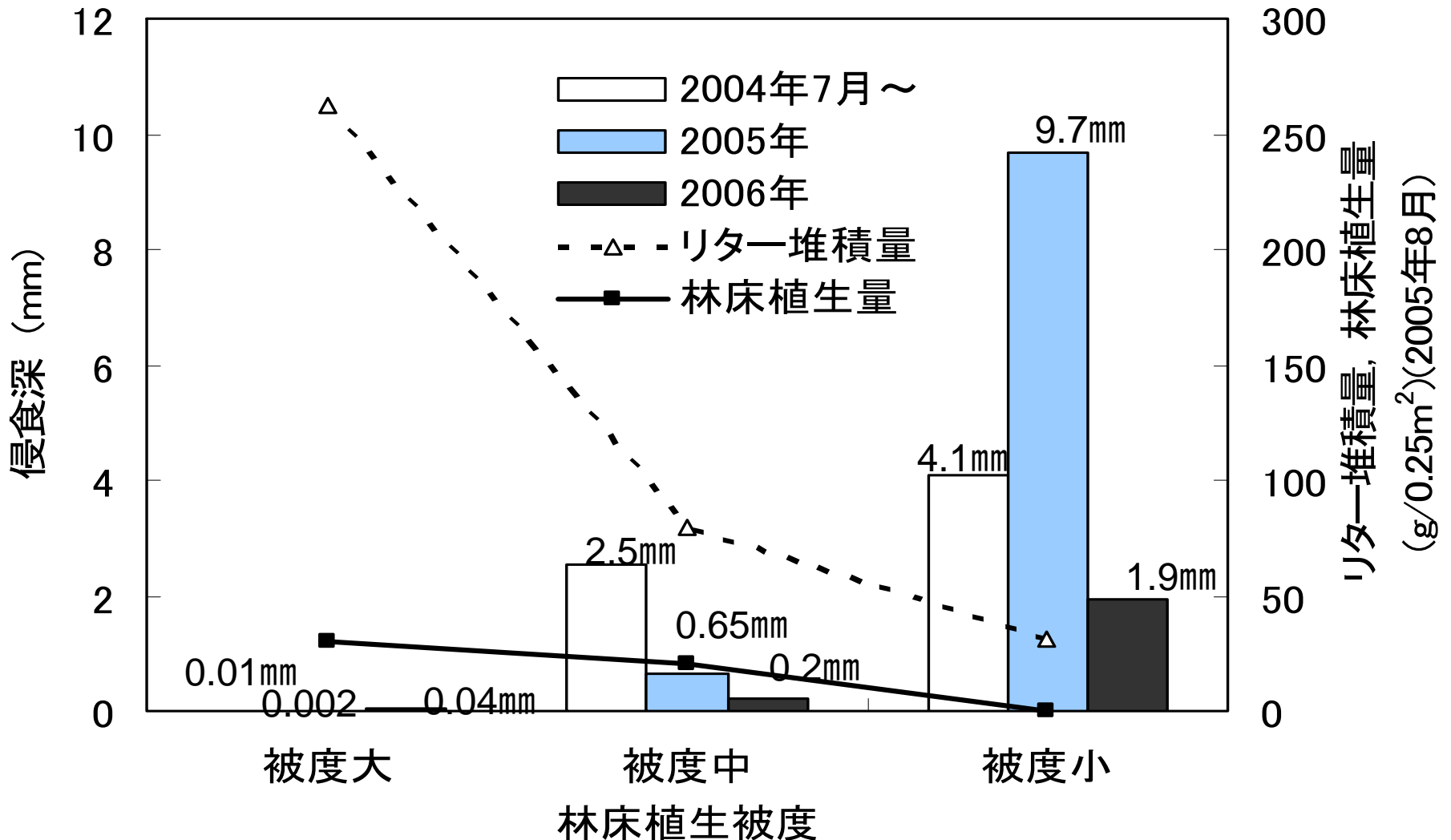
(中津川エリア:旧保全計画の保全再生重点区域)



生態系環境収容力の増進とシカの保護管理の一体的推進による生物多様性の維持

(H13政策課題調整)

堂平ブナ林内の土壌侵食の深刻化



堂平の対策を主眼とした課題設定

- ①林床植生の衰退箇所での土壌侵食の深刻化
- ②従来手法で対応することの限界
- ③流域でシカ・植生・溪流縦侵食の対策を一体に・・・→林内の表面土壌侵食対策は？



課題 1) 環境負荷の小さい土壌侵食対策
手法の改良・開発

課題 2) 流域全体の統合的な土壌保全
対策の検討

調査研究から事業化までの流れ

H16-17
実態調査

丹沢大山 総合調査

- ① 土壌侵食実態把握
- ② 侵食メカニズム解明

・堂平の現地調査

H17-18
試行・検討

丹沢大山保全 緊急対策事業

- ① 対策手法の改良・開発
- ② 流域の土壌保全対策の
全体計画策定方法の検討

・委員会形式の検討
・堂平での施工試験と検証

H19-23
本格事業

自然再生事業 土壌保全対策

- ・計画策定
- ・現地の土壌保全対策
- ・効果モニタリング

対象地：特別保護地区

対策手法の改良・開発

- ①委員会形式での検討(2カ年で7回開催)
丹沢大山総合調査と連携
- ②検討材料としての現地調査と施工試験
所内連携(* 自然公園課で工事執行)



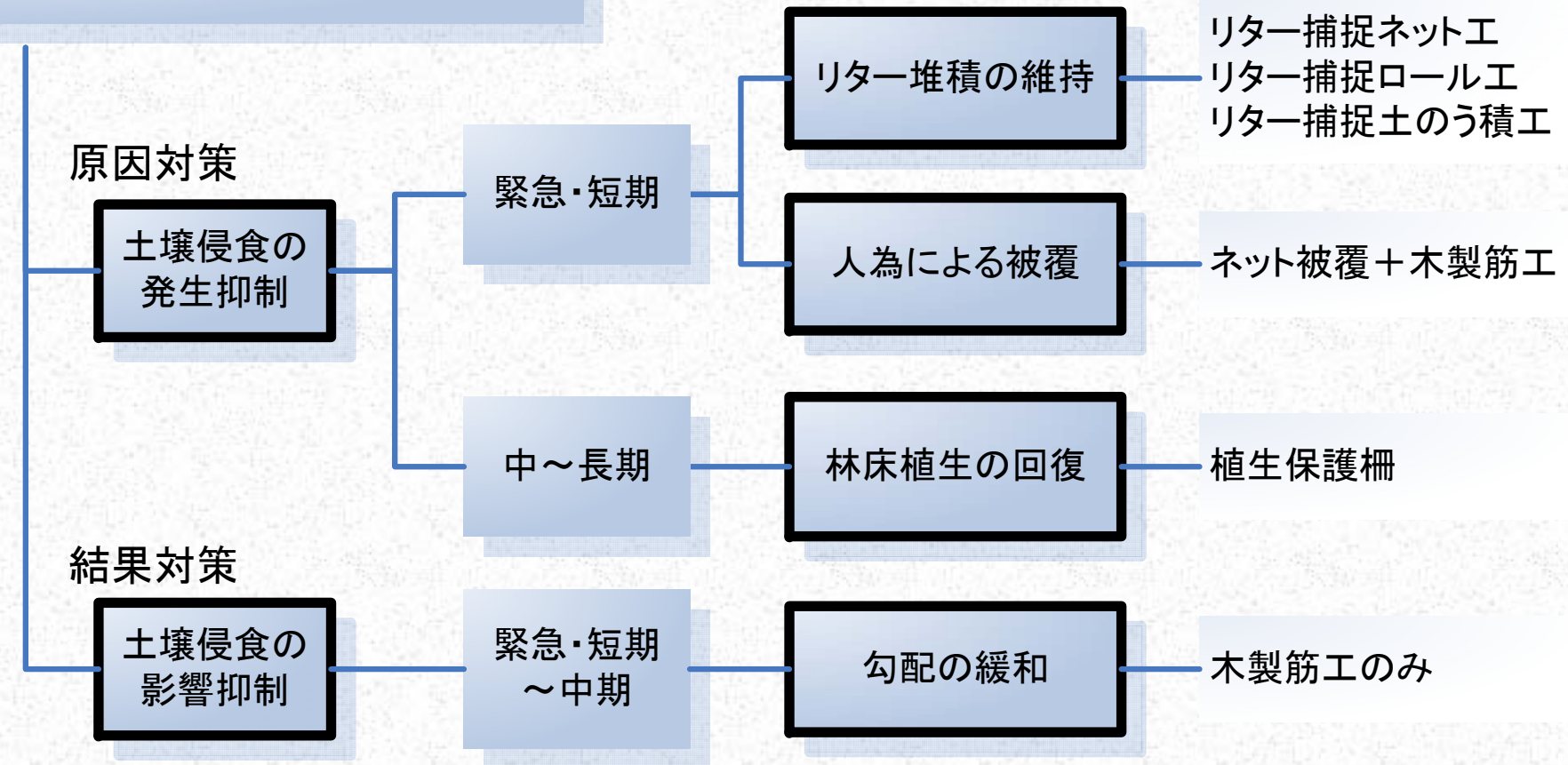
- 問題構造に合った対策手法
- 現地特性 (特別保護地区・自然林内)
にふさわしい対策手法

堂平での施工試験の状況

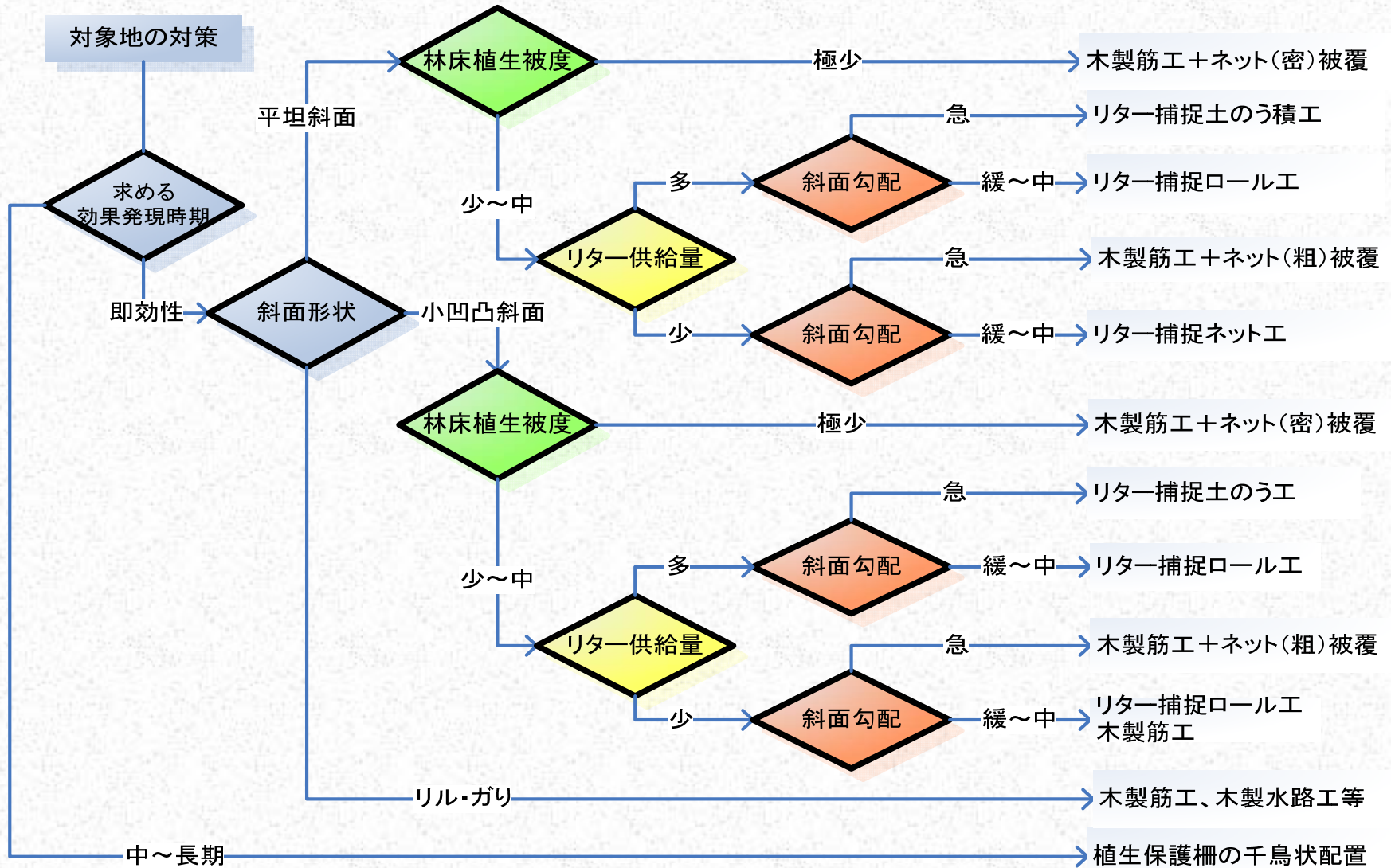


土壌侵食対策手法の提案

サイトスケールにおける対策手法



自然林内での対策手法の配置



H19取り組みと今後の課題

H19 研究部取り組み

- 土壌保全対策マニュアルの取りまとめ・発行
～流域における統合的な土壌保全対策指針～
- 土壌侵食モニタリング手法の改良・開発
→事業実施箇所の効果検証モニタリング手法



- 現地モニタリングと対策手法の見直し
- 流域全体の効果モニタリング